

令和2年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

日時： 2021年2月15日 13:10-13:50	場所： 本庁舎2階 会議室2
出席者： 町長 久保眞一 教育長 渡井渡 教育委員 今村孝男・塩島萬夫・遠藤あやみ・一瀬美教	欠席者
教育総務課長 望月利偉 生涯学習課長 森川規彦 総務施設係長 都築雅和	
生涯学習係長 一瀬秀明 総務施設係委員 村松寛弥	
作成部署： 教育総務課 総務施設係	作成者 村松寛弥

議事録内容 (1)

司 会 進 行：望月教育総務課長

1.開会

渡井教育長：皆さんこんにちは。本日は、市川三郷町の総合教育会議です。久保町長交えて、教育について皆さんと協議できる大変貴重な機会であります。本日の会が、市川三郷町の教育の発展に寄与できるよう、忌憚のないご意見を出していただきまして、有意義に終わることを願っております。これより、総合教育会議を開会いたします。

2.あいさつ

久保町長：皆さまこんにちは。市川三郷町総合教育会議をお願いいたしましたところ、教育委員の先生方には13時10分という大変お忙しい時間にもかかわらず、また、雨の中をご出席いただきましてありがとうございます。総合教育会議は第1回が2015年、平成27年度にありました。今回13回目になります。本日の総合教育会議の議題につきましては、本年度末、3月末に策定いたします、社会教育・社会体育施設長寿命化計画（案）についてご説明申し上げ、ご意見をいただきたいと思います。その後、本町の教育行政につきまして、教育委員の先生方からご意見をいただく、意見交換を予定しております。本町の教育発展のために力をいただいております先生方に改めましてお礼を申し上げます。ご挨拶いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3.議題

望月課長：議題に移りたいと思います。議長は町長をお願いしたいと思います。

久保町長：コロナウイルス感染症予防のため、会場に来て会議を行うのは、1時間以内、可能であれば45分以内という目途で会を進めていきたいと思います。最初に、社会教育・社会体育施設長寿命化計画（案）につきまして説明をお願いいたします。

一瀬係長：生涯学習課生涯学習係の一瀬と申します。よろしくお願いいたします。すでに素案につきましては、町長はじめ、教育委員の皆さんに概略を説明させていただきまして、ご意見をいただいております。その後、意見を一部反映させていただきまして、最終案を1月25日から2月10日までパブリックコメントということで、町民の皆さまに広くご意見をいただく機会を設けました。しかしながら、この期間中に町民の方から意見等はありませんでした。最終的な素案につきましては、お手元に概要版を用意させていただきましたので、こちらにのっとって説明をさせていただきます。本日、最終的に修正点等あれば、修正いたしますが、無いようでしたら、3月議会の前に行われる、議員の全員協議会でご報告をさせていただき、3月中の策定としたいと考えております。

A3版の両面印刷してあります概要版をご覧ください。公共施設を取り巻く背景ということで、市川三郷町社会教育・社会体育施設長寿命化計画を策定するにあたっての背景を説明させていただきます。①といたしまして、多くの公共施設を保有しているということがございます。本町は平成17年10月に三珠町・市川大門町・六郷町が合併し、多くの土地や公共施設を保有することとなり、大規模な修繕や更新が見込まれる多数の公共施設等の現状維持は難しい状況にあります。②といたしましては、公共施設等の老朽化の進行が挙げられます。大半が20年以上経過しており、部分的な修繕を行っているものの、中には50年以上経過し老朽化が進行している状況です。③といたしまして、公共施設等の建設事業

令和2年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

日時：	2021年2月15日	13:10-13:50	場所：	本庁舎2階 会議室2
出席者：	町長 久保眞一 教育長 渡井渡 教育委員 今村孝男・塩島萬夫・遠藤あやみ・一瀬美教		欠席者	
	教育総務課長 望月利偉 生涯学習課長 森川規彦 総務施設係長 都築雅和			
	生涯学習係長 一瀬秀明 総務施設係委員 村松寛弥			
作成部署：	教育総務課 総務施設係		作成者	村松寛弥

費削減が挙げられます。人口減少や少子高齢化の進展、社会保障関連経費の増加に伴い、財政的には厳しくなってきました。従来は不具合があった場合に、その都度修繕を行っていましたが、将来的には計画的な点検を行い、予防的保全を行う長寿命化型へ転換していく必要があると考えております。それを行うことで、施設整備に係るコストを総合的に抑制していくということになります。前回教育委員の皆さまからご指摘をいただきました、本計画の位置づけになりますが、下にチャート図を用意いたしました。本町の地区公民館等の社会教育施設及び体育館プール等の社会体育施設につきましては、上記の背景を踏まえながら、総合的な観点で中長期的な視点を持ち、更新・改修・改築等維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、社会教育・社会体育施設に求められる機能・性能の確保を目的としています。また、本計画は市川三郷町公共施設等総合管理計画に基づく社会教育・社会体育施設の個別施設計画という位置づけを兼ねています。下に計画の位置づけのチャートがありますが、すでに国におきましてはインフラ長寿命化計画が策定されておりまして、併せて国土強靱化計画も策定されております。市川三郷町におきまして、市川三郷町国土強靱化計画、市川三郷町第2次総合計画がございまして、その下に市川三郷町総合戦略がございまして、さらにそれらの計画を踏まえた市川三郷町公共施設等総合管理計画がございまして、その個別の施設計画という位置づけで、市川三郷町社会教育・社会体育施設長寿命化計画がございまして、2ページになります。従来型の維持管理から長寿命化型への転換になります。先ほども申し上げましたが、従来型の施設維持管理は、故障や不具合が発生した際に機能を回復するよう修繕し、経年劣化等により、大規模改修や改築などを行ってきました。長寿命化を図ることにより、従来40年程度で改築されてきた施設等をコンクリートや鉄筋の強度を確保するうえで建物ごとに判定を行い、鉄筋コンクリート造の建物については80年程度に伸ばすことが可能となります。また、点検等により事前に劣化状況を把握し、計画的に予防保全を行い、トータルコストの削減や予算の平準化を図ることが可能となります。続きまして、社会教育・社会体育施設の老朽化、またその状況を踏まえた維持管理のコストということで、現地を調査した結果が下の一覧表の通りです。それぞれ劣化状況の判定及び評価を100点満点で建物ごとに行いまして、表の中に示しております。中でも3番目に評価してあります高田地区公民館は31点。10番目に評価してあります六郷地区の武道館は55点。12番目の落居体育館は18点という劣化状況でございまして、3ページに移ります。今後の維持・更新コストになりますが、長寿命化改修をして耐用年数を約80年度としたとき、今後40年間の維持・更新コストは総額53億円、1年あたり1.3億円となります。従来型の維持管理コストだと総額60億円かかり、年単位でも1.5億円となっております。これらを比較しますと12%の削減が可能と試算しております。次に施設の規模・配置計画等の方針についてでございます。長寿命化計画の基本方針といたしましては、1つ目、計画的な保全による長寿命化の推進。点検・診断の実施により予防保全と計画的な修繕・改修を図り、社会教育・社会体育施設の長寿命化を推進します。また、施設の老朽度、地域制、利用状況を踏まえ、周辺施設との集約化等も検討していきます。2つ目といたしまして、生涯学習の機会の創出ということで、公民館施設は、生涯学習センターを拠点に事業を充実させ、町民が自らの意思で積極的に学び、生涯学習などで得られた成果を発表する場、異世代の文化交流の場となり、地域の活性化につながる施設整備を目指します。3つ目として、住民のスポーツ活動の推進です。町民の誰もが身近にスポーツに親しみ、交流が図れるコミュニティの場として、スポーツ施設の整備・充実を図り利用者の拡大に努めます。次に、社会教育・社会体育施設の規模・配置計画の方針ですが、社会教育施設と社会体育施設の規模は、地域性と町民ニーズと利用状況等を踏まえ、適時適切な見直しを行います。社会教育施設と社会体育施設の配置計画は、施設の規模の見直しに伴い、地域ごとにハザードマップで示された洪水、土砂災害等の警戒区域に立地する施設の移転、他施設との複合化等、防災機能の強化を含めて必要設備の整備を踏まえた計画を検討していきます。概ね、本計画につきましては5年程度で見直しをしていく予定を立てております。続いて、改修等の基本

令和2年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

日時：	2021年2月15日	13:10-13:50	場所：	本庁舎2階 会議室2
出席者：	町長 久保眞一	教育長 渡井渡	教育委員 今村孝男・塩島萬夫・遠藤あやみ・一瀬美教	欠席者
	教育総務課長 望月利偉	生涯学習課長 森川規彦	総務施設係長 都築雅和	
	生涯学習係長 一瀬秀明	総務施設係委員 村松寛弥		
作成部署：	教育総務課	総務施設係	作成者	村松寛弥

的な方針といたしまして、1つ目、長寿命化の方針として、本町の所有する社会教育施設の半数が築25年から築43年を経過し、社会体育施設は全てが築37年から築51年を経過しています。既存施設の調査の結果、構造躯体の健全度が高いことから、老朽化に伴う改善を進める中で長寿命化を図り、中長期的な維持管理コストの縮減を目指します。続いて、4ページ目ですが、目標使用年数、改修周期の設定です。目標使用年数は、鉄筋コンクリート造の建物について総合管理計画では60年と設定していますが、他の文献等によると物理的にはさらなる長寿命化が期待できることから、本計画の中ではこれを80年として見直しをしていきます。改修周期は、劣化する建物の部位や設備の性能・昨日から実用上支障を生じさせると考えられる20年を目安に設定しています。その下に長寿命化のイメージということで図を用意いたしました。建物の完成から徐々に劣化が始まりますので、概ね20年程度を持ちまして大規模改修で、設備面の機能回復を果たす必要があると考えられています。また、35年程度経ったところで、小規模回復で、機能回復を行う必要が出てきます。また、築40年程度で大幅な機能向上と建物そのものの長寿命化改修が必要だと見込んでおります。また、そこから20年経った築60年程度でも再び、大規模改修で機能回復が必要となりまして、最終的には築80年程度で解体、改築を行うイメージでございます。最後に今後の実施計画ということで、計画をさせていただきました。実施計画においては、高田地区公民館の改築等を計画するほか、現状施設の改築及び長寿命化改修、大規模改造を計画とします。また、改築及び長寿命化改修、大規模改造は、施設規模の大きい生涯学習センターの長寿命化改修を2年に均等分配して計上しています。その他の施設は単年度事業とし、今後の試算期間40年間の維持・更新コストの平準化を図ります。今後の5年間の実施計画といたしましては、高田地区公民館の改築事業という形で174,960千円を計上いたしました。また、長寿命化改修といたしまして、六郷の富士見にあります武道館の長寿命化改修ということで約1億円を計上いたしました。その他、表の下段に表示をしておりますが、維持管理修繕ということで、およそ毎年、年間2,950千円を計上しております。また、高熱水費や建物の各種点検などの委託料を32,800千円を計画を立てております。以上が、この長寿命化計画の概要となっております。よろしくお願いいたします。

久保町長：担当より、概要版を通して説明をしていただきました。素案のほうは43ページほどありますが、重点だけをまとめた4ページの概要版で説明をいただきました。これにつきまして、ご質問ご意見はございますか。

今村職代：丁寧な説明ありがとうございました。今後の実施計画の中で、前回の説明の中では令和3年に落居体育館の修繕が入っていたと思うのですが、今回入っていないのはどういう理由ですか？

一瀬係長：そちらにつきましては計画書の34ページをご覧くださいと思います。試算期間40年間で、本計画期間としまして、25年間で計画期間としました。落居体育館につきましては、今後10年ほどをめどに用途廃止の方向で検討していくということで、大規模改修を当初は予定をしていましたが、通常の維持管理の中での機能修繕という形で対応させていただくことといたしまして、概ね10年程度をもって地域へのご理解をいただく中で用途廃止の方向で計画しています。

久保町長：1980年、1981年、（昭和55年、昭和56年）に建築基準法が改正されて、耐震計算式が変わって、一つの区切りというのが昭和55年、昭和56年以前に設計、建設された建物とそれ以後に設計建設された建物が対比できると思いますが、それ以前のものは耐震診断をしてどういう補強をしなければならないかというのがあって、区分けを表の中でも色付けしてありますが、そのところを施設と地域の方々がどれだけ利用しているかの利用規模、それを耐震診断の結果、どのように耐震化、長寿命化をしていくかを考察していただければと思います。当然やっつけてくださっていると思いますが、注意深く見ていただければと思います。

令和2年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

日時： 2021年2月15日 13:10-13:50	場所： 本庁舎2階 会議室2
出席者： 町長 久保眞一 教育長 渡井渡 教育委員 今村孝男・塩島萬夫・遠藤あやみ・一瀬美教	欠席者
教育総務課長 望月利偉 生涯学習課長 森川規彦 総務施設係長 都築雅和	
生涯学習係長 一瀬秀明 総務施設係委員 村松寛弥	
作成部署： 教育総務課 総務施設係	作成者 村松寛弥

久保町長：教育委員の先生方いかがでしょうか。

渡井教育長：質問ではないのですが、私も就任1年目ということで、これらの施設を見学させていただいた折に、非常に住民の方が有効活用していると見まして、大切にしていかなければいけないと思いました。今回コロナ対策で学校現場に最初に言ったことは、子どもたちの命を守ってほしい。それから、子どもたちの学習を守ってほしいと伝えました。これを町民の声に変えますと、まさしく町民の命を守り、生涯学習を守っていくための大事な施設だと思っておりますので、今後またそういう方針の中で、より施設が安全で、中身も有効活用できるよう教育委員会としても取り組んでまいりたいと思います。

久保町長：教育委員会として、ご提言やご提案をいただければ、それを十分教育総務課、生涯学習課でしっかり検討していただいておりますようにしたいと思います。

久保町長：他に教育委員の先生方から何かありますでしょうか。

今村職代：財政が厳しい中で、施設を有効活用できるように取り組んでいければと思います。13日に地震があり、今後大きな地震が来る可能性もあります。今提示いただいたこの長期間の計画も、見直しが必要になってくると思います。国の交付金などを活用しながら施設を安心安全に使っていければと思います。

久保町長：13日の23時7分、東北地方を中心に震度6強、マグニチュード7.3ですから、かなり強い地震でしたが、政府の地震調査会の見解ですと、2011年、平成23年3月11日の東日本大震災の余震とのこと。さらに10年間はそのような余震があるという見解を発表しております。10年前に非常に大きな被害があり、津波でも大きな被害があり、2万人以上の方が亡くなったり、行方不明になったりしました。未曾有の震災だったのですが、その余震がまだあるということです。さらに、南海トラフや東南海トラフ、首都直下地震となると、耐震の面でどのくらいの数値が望ましいか。数値が低い可能性もありますし、厳しい数値だとさらに見直す必要も十分あり得ると思います。特にこの辺は、身延断層や糸魚川静岡構造線、曽根丘陵断層もあります。新しいごみ処理施設を10年後に浅利地区に作る予定で、浅利地区に計画していますが、近くに曽根丘陵断層が走っており、地震が起きた時にどのくらいの規模になるかを想定をしたら、今の基準では建てられないような数値で心配なところもあります。この辺りは活断層がありますから、その辺りもこの計画の中で考察していく必要があると思いますので、担当のほうでよろしくお願いいたします。

久保町長：それでは、議題第1号につきましては総合教育会議といたしましては、概ね了承いただいたということで、よろしくお願いいたします。

久保町長：議案第2号の意見交換ということですが、教育委員の先生方から何かございますでしょうか。

一瀬委員：昨日、新町前遺跡の見学会に行きまして、平安時代のかまどの跡や石器等、生活の様子が見えました。県の研究者の説明を聞いてきましたが、この町の歴史の元というか、まさかここに出てくると思っておらず、たまたま調査したら出てきた。恐らく町の中になかなか分かっていない部分が相当あるんだろうと思います。大塚にも様々出土したものがあります。予算も必要になってくると思いますが、ぜひ専門の調査する人や研究する人、以前は和田さんという方がいらしたと思いますが、地道に研究していくことが大事だと思いました。人件費等かかりますが、検討していただければと思います。

久保町長：市川の先生方何名かいますが、歴史について文献を整理してくださって冊子に残されていますが、今、しっかりと歴史的にやってくれる方がなかなかいらっしゃらない。特に市川代官所の跡を何とかしようと寿会館を解体したのですが、築50年近くで、耐震診断の結果数値が悪すぎて使わなくしておりまして解体をしたのですが、その周辺が御陣屋の

令和2年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

日時： 2021年2月15日 13:10-13:50	場所： 本庁舎2階 会議室2
出席者： 町長 久保眞一 教育長 渡井渡 教育委員 今村孝男・塩島萬夫・遠藤あやみ・一瀬美教	欠席者
教育総務課長 望月利偉 生涯学習課長 森川規彦 総務施設係長 都築雅和	
生涯学習係長 一瀬秀明 総務施設係委員 村松寛弥	
作成部署： 教育総務課 総務施設係	作成者 村松寛弥

敷地内にありますので、将来の計画を考えて何も建てておりません。1767年頃、明和4年頃から100年1867年、1868年が維新ですよ、慶応4年から明治元年になりますが、100年間で25代にわたる代官が7万5千石を納めていたという事実があります。調べると新潟県の長岡藩が7万4千石ですから、長岡藩より大きな面積を市川代官所が統治していたということになります。東は忍野村、北は南アルプスの大半、南は万沢、静岡県境、本当に広い面積を市川代官所で統治しており、考えればそれらをしっかり地域に残しておければと思いますし、甲斐源氏発祥の地のことも、今の平安時代の生活の痕跡のことも、周辺の市や町の人からすると市川三郷町はそういう歴史のある町ということで、その辺りを町の宝として、一瀬委員がおっしゃるような後世に残すようなことも必要だと思います。予算も必要ですけど、教育総務課、生涯学習課のほうで考えながら、旧三珠、旧六郷も含めて歴史的なものを記述で残すことが大事だと思います。私はそのようなことを一番やっておきたいと思っている一人でありまして、色々な歴史が好きで自分で調べてはノートに書き留めて、できるだけ覚えておくようにしていますが、ぜひ両課長、係長、一瀬委員のご発言について考えていただければと思います。最終的には予算は議会を通して執行するんですが、議員の皆さまも関心を持って考えている方がいらっしやいますので、ぜひそういったことも議題にしたいと思います。

一瀬委員：新町前遺跡が出たことがいい機会だと思いますので、取り組んでいただければと思います。

久保町長：長岡藩に注目したのは、小林虎三郎の米百俵で、戊辰戦争で当時会津藩と長岡藩が最後は五稜郭にて政府軍に敗れるということがあるのですが、その前の会津、長岡両藩が敗れた時、7万4千石が2万6千石に石高が減らされて、藩民が食べるのもおぼつかないくらい苦しい生活の中で、雄藩である三根山藩が米百俵を救援米として送ったのですが、小林虎三郎の記述によると、身の危険を冒してまでもそれを金に換えて国漢学校の建設資金にしたという米百俵物語があり、それで長岡藩を調べたということがありました。米百俵を教育に使えば、千俵、一万俵、何万俵にもなるという教育の尊さを教えてくれたのが米百俵物語でした。長岡駅を降りた通りには、色々な米百俵の記述があります。歴史はとても尊く、大切にしなければならないと思います。

一瀬委員：天龍寺の管長さんにいらっしやっていただいた時に、市川だったら行きたいというお返事をいただいたということは、この町に歴史があるということだと思います。その帰りの時に、夢窓国師の言い伝えやうわさなどが必ず残っているはずなので、ぜひ教えてもらいたいと言って帰られたようです。

久保町長：一瀬教育委員さんはじめ、10周年の時に佐々木容道管長さんにお越しいただいてご講演をしていただきましたが、その後、大きい円を書いたものが町長室にあります、悟りとか宇宙を表すということで贈っていただきました。夢窓疎石、夢窓国師の開山した天龍寺のゆかりをお話してくれました。調べれば調べるほど本町に歴史があるということが分かり、大事にしたいと思うばかりです。先日、是空展が県立美術館であり、源氏の館でやったときも見たのですが、丹澤孝議員から案内をいただき行ってきましたが、青洲さんの関係がたくさんありまして、尊いものがたくさん展示されていました。一つ一つ本町にとっての宝がたくさんありました。

塩島委員：町長の話をお聞きして、私自身不勉強だったと感じました。かなり小学校、中学校の現場の中で地域を学ぶという観点から、深く掘り下げて広く学んでいける良い題材があるということを感じました。今後の子どもの学習に繋げていただければいいと思いました。

久保町長：地方創生と言われて4年、5年経つのですが、地方創生は教育から始まると思い続けてきて、教育は色々な施策がある中で最優先されるべきだと思っており、教育は重く尊いものだと感じております。歴史も同じだと思います。両課長より

令和2年度市川三郷町総合教育会議

(第1回)

議題

日時： 2021年2月15日 13:10-13:50	場所： 本庁舎2階 会議室2
出席者： 町長 久保眞一 教育長 渡井渡 教育委員 今村孝男・塩島萬夫・遠藤あやみ・一瀬美教	欠席者
教育総務課長 望月利偉 生涯学習課長 森川規彦 総務施設係長 都築雅和	
生涯学習係長 一瀬秀明 総務施設係委員 村松寛弥	
作成部署： 教育総務課 総務施設係	作成者 村松寛弥

しくお願いします。正月に書かせてもらった、「機は前に見えるもの」も言志四録の言志録に、「物事、何によらず後の機は前にみゆるもの也。」とあります。そういうものを見ると今現在も大事だけれども、30年、50年、100年先にどうあればいいかということを考えるべきで、それもしっかりとした考えを持って取り組んでいくことが大事だと思い、書かせていただきました。まさに、小林虎三郎の米百俵を藩民に与えずに、お金に換えて勝手に国漢学校の建設資金にして、藩民からすれば毎日毎日飢えていくという、よく実行したなと思いました。

先生方からは何かございますか。よろしいでしょうか。

教育委員：一同了承する。

久保町長：最後議案第3号その他ということで何かございますでしょうか。

教育委員：一同了承する

望月課長：議題のほうありがとうございました。閉会の言葉を渡井教育長お願いします。

4.閉会の言葉

渡井教育長：皆さん、ご苦労様でした。大変中身の濃い良い会ができたと思います。これを元に今後も教育の発展を期して、教育委員会としても頑張ってやっていけたらと思います。本日は誠にご苦労様でした。

(午後1時50分閉会)